令和７年度　江戸川区立一之江第二学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・よく考え、進んで学習する子ども ・思いやりがあり、助け合う子ども ・体力のある、元気な子ども	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・明日登校するのが待ち遠しい学校 ・よく考え、進んで学習する子ども・思いやりがあり、助け合う子ども・体力のある、元気な子ども ・子供たちの「明日」を考えた指導ができる教師
前年度までの本校の現状	成果：・学力診断テストを通して、基礎・基本をしっかりと身に付けることができた。 ・HPをこまめにアップすることで、学校の様子を地域保護者に積極的に発信することができた。	課題	・体育の授業改善や体力向上に向けた取組に取り組んだが、体力テストの結果の向上にはつながらなかった。 ・保護者からのアンケートを２回実施することで、教育活動の充実につなげていく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	学習の基盤となる基礎、基本の確実な習得のためのテストの実施	東京ベーシックドリル診断テストの実施	年度末実施の診断テストの正答率60%未満の割合１０%未満											
	家庭学習習慣の定着に向けた学校の組織的な対応による取組の実施	家庭学習週間（江戸川っ子study week!）の設定	ドリルパークを活用し、７日間×３回（毎学期１回）の実施											
	読書科の更なる充実	学校図書館を活用した探究的な学習の実施	学期に1回、全学年で実施											
体力の向上	持久力や敏捷性などの基礎体力の向上に向けた取組	体育授業における運動量の確保	一単位授業あたり、３０分間以上の運動時間確保											
		江戸川っ子なわ跳びウィーク	年間で２週間×３回の縄跳びウィークの実施											
		校内研究による教員の授業力向上による、運動の質の向上	年間6回の研究授業の実施と協議会による授業検討											
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育の推進	適正な就学に向けた保護者との連携	対象児童の保護者との連携率１００%											
	異学年交流	いちにタイムの充実	年間８回の実施、児童アンケートで「いちにタイムが充実している」という回答９０%以上											
		あいさつから始まる異学年交流	児童アンケートの「すすんで挨拶をしている」という回答９０%以上											
不登校・いじめ対応の充実	子どもたちの健全育成に向けた取組	いじめの早期発見・早期対応。	年２回のふれあい月間の実施											
		不登校の解消に向けた取り組み	対象児童の保護者・SC、SSW等の関係機関との連携率１００%											
		L－Gateを活用して日々子供の実態把握に努める。	実施率１００%											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	学校（園）ホームページの充実等	学校ホームページの更新	毎日更新を行う											
	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた本シートに基づいたアンケートの実施	前期後期の年間２回を実施する。											
	保護者が学校に足を運ぶ機会の充実	学校公開・保護者会・運動会等の実施	保護者が学校に来る機会を月に１回以上設定をする。											
特色ある教育の展開	一部教科担任制の推進	３年生以上による一部教科担任制の実施	児童アンケート教科担任による授業が分かりやすいという肯定的な回答８割以上											
	本校の伝統を受け継いだ教育活動	金魚の飼育を通した、生命尊重・動物愛護の精神の育成	全学級において金魚の飼育と月１回以上の水槽の清掃											
	教育活動の充実に向けたICTの効果的な活用	ミライシードを効果的に活用した授業実践	高学年は１日１回、低学年は週に３回以上のミライシードへのアクセス											